

協 社 おうたき

第

80

号

令和 5年 8月 1日 発行

社会福祉法人

王滝村社会福祉協議会

〒397-0201

長野県木曽郡王滝村2830-1

TEL 0264 (48)2008

FAX 0264(48)3033

ともしつどい 支えあい



令和4年度事業報告・・・2～4p

令和4年度収支決算・・・5～6p

役員・委員等のお知らせ・・・7p

上条区で地区サロンを開催
(R5.3)

現在、村内では3か所で、地域の皆さんが定期的に自主的なサロンを開催しています。あなたの地区でも、いっしょに始めてみませんか！



令和4年度おもな事業の報告



薬膳料理で、めざせ不老長寿！

お楽しみ弁当のつくり隊には7グループ48名の方が登録。年に一回の勉強会では、ご利用の皆さんに健康で長生きしていただきたいと薬膳料理に挑戦。

地域支え合い活動の促進

地区サロンと情報交換会

10月5日 下条地区サロン 参加者 10名

出張介護教室他 ※啓発月間開催

3月31日 上条地区サロン 参加者 16名

※地区サロン立ち上げ支援



思いのこもったパネルが完成！
どんぐり広場の家族交流会では、子どもたちの成長を願った思い思いのパネルづくりを楽しみました。

◇地域福祉活動

ボランティア・福祉啓発

1. ボランティアの育成・支援

登録ボランティア 15メニュー 128名 (成人19%)

ボランティア講座 2回開催 参加者 10名

※その他、ボランティア新年交流会、お楽しみ弁当勉強会などを実施。

2. 第33回福祉・健康の集い（社会福祉大会）

『福祉・健康啓発月間』(R4.10月) 延462人

3. 福祉教育

小中学生夏休みボランティア体験 3メニュー

7月25日～8月18日 参加者 13名

福祉講座

7月7日 福祉体験学習(中3) 参加者 2名

◇地域福祉サービス



	実施回数	利用者	延利用者数(前年度比)
1 どんぐり広場	12回	6組7名	40人 (△6人)
2 ミニ児童館	243日	18名	161人 (+7人)
3 ふれあい元気づくり教室	12回	20名	171人 (+52人)
4 お楽しみ弁当	14回	47名	487人 (+13人)
5 ごたくらぶ	12回	8名	61人 (+2人)
6 会食会	1回	98名	- (+98名)
7 障がい者希望の旅	1回	11名	- (+6名)
8 障がい者交流会	1回	8名	- (+4名)
9 金銭管理・財産保全サービス	- 日	- 名	- 人 (- 人)



牛乳パックでハガキづくり

夏休みボランティア体験の絵手紙メニューでは、小学生が手すき和紙のハガキづくりにチャレンジ！

◇生活資金貸付事業



1. 暮らし資金（独自事業）

貸付件数/残高 1件 (290,000円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

2. 生活福祉資金（県社協受託）

新型コロナ特例貸付（緊急小口資金）

貸付件数/残高 1件 (0円)

☆新規貸付 1件 ☆償還終了 1件

☆各種事業の参加者が増加

新型コロナの影響で企画内容を制限しながら行わせていただいた各種事業ですが、郡外日帰り旅行の再開や、会食会を弁当持ち帰りで3年振りに開催するなど、感染対策に気を配りながらも、計画していた事業を予定通りに実施することができました。

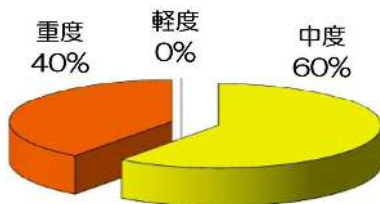
事業全般として参加者が増加し、又、元気づくり教室では男性の参加も目立つようになりました。



◇介護保険(障害福祉)サービス

	営業日	利用者	延利用者数
1 居宅介護支援事業	243日	34名 ◎新規 9名	316人
2 通所介護(デイサービス)	257日	25名 ◎新規 5名	2,097人
3 訪問介護(ホームヘルプ)	307日	13名 ◎新規 2名	2,420人
4 障がい者ホームヘルプ	307日	- 名	- 人
移動支援サービス		1名	28人

季節の味覚! ほうば巻きづくり
デイサービスでは、季節を取り入れた
イベントや調理実習がお楽しみです。



＜居宅介護支援事業＞

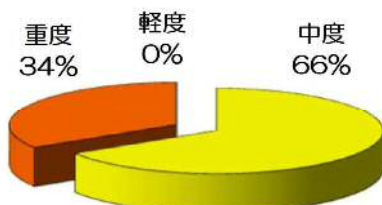
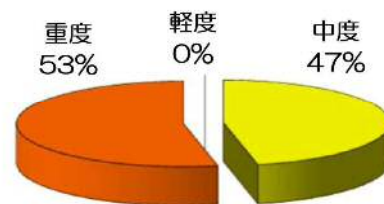
介護状態別ケアプラン作成状況(延件数)

	4年度	3年度	増減
軽度	- 件	- 件	- 件
中度	190件	183件	+7件
重度	126件	110件	+16件
合計	316件	293件	+23件

＜デイサービス＞

介護状態別利用状況(延人数) ◎1日平均利用者 8.2人

	4年度	3年度	増減
軽度	- 人	- 人	- 人
中度	979人	1,006人	△27人
重度	1,118人	861人	+257人
合計	2,097人	1,867人	+230人



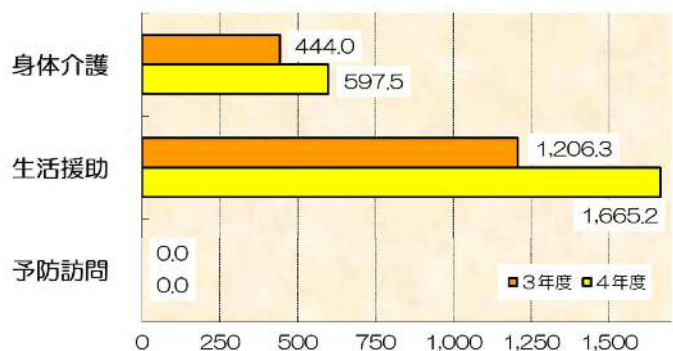
＜ホームヘルプサービス＞

介護状態別利用状況(延回数)

	4年度	3年度	増減
軽度	- 回	- 回	- 回
中度	1,599回	749回	+850回
重度	821回	866回	△45回
合計	2,420回	1,615回	+805回

◎延訪問時間 2,263H (前年度比+613H)

※1回当たり訪問時間(平均) 56分 (前年度比△8%)



☆訪問介護の利用者が大幅に増加

訪問サービスでは、利用回数が月平均で+67回(150%)、利用時間で137%と前年度より大幅に利用者が増加しました。独居世帯の利用の多い訪問サービスでは、生活援助等の利用頻度が高くなる一方で、早期の施設入所等により利用者が激減する傾向があり、近年、利用者増減の変動幅がとても大きくなっています。

☆人員体制の確保が大きな課題

介護サービスの提供に当たっては、近年、利用実績の変動に伴う事業収入増減の影響が大きく、専門職員の平均年齢の上昇も相まって、今後の安定的なサービス提供体制の確保が大きな課題となっています。

＜障がい者ホームヘルプ＞ ※移動支援サービスのみ

	4年度	3年度	増減
◎延訪問回数	28回	46回	△18回
◎延訪問時間	51.0H	92.0H	△41.0H



◇介護予防・生活支援事業

☆生活支援のニーズが増加

配食サービスでは、月平均で+49食(112%)、生活支援訪問サービスでは利用回数が144%と前年度より利用者が大幅に増加。高齢化率の上昇や高齢者のみの世帯の増加により、生活支援サービスのニーズが高くなっています。

☆高齢者の社会参加

活動の促進

人口減少や高齢化の進行する地域の中で、元気な高齢者の就労活動や社会参加活動の促進が、今後の持続可能な地域づくりにとっても大きなテーマとなっています。

	実施回数 (日数)	利用者	延利用者数(前年度比)
1 いきいきサロン	12回	6名	65人 (△2人)
2 配食サービス	486回	29名	5,570人 (+592人)
3 生活支援訪問サービス	141日	19名	261人 (+80人)
① 介護予防ホームヘルプ	-	1名	4人 (+4人)
② 生活支援ホームヘルプ	-	19名	257人 (+76人)
4 介護教室	5回	32名	40人 (△8人)
5 介護者リフレッシュ	4回	8名	14人 (△3人)
6 外出支援サービス	180日	39名	646人 (△258人)
7 ひとり暮らしよらまい会	4回	24名	62人 (△4人)
8 心配ごと相談所	15回	-	7人 (△3人)

いきいきサロンでは2年がかりで布絵本を作り、子どもたちにプレゼントしました。



◇生活支援ハウス運営事業

入居者6世帯7名(365日 24時間営業)

☆新規入居 1世帯(1名) ☆退所 2世帯(3名)



畑でワイワイ、収穫交流会
高齢者の社会参加活動で行っている王滝かぶづくりの締めくくりに、屋外で交流会を開催。

R4生活支援ネットワーク事業

(1) 生活支援ネットワーク会議(運営委員14名)

6月30日...令和4年度推進計画他

(2) 地域支え合い推進会議(推進委員25名)

第1回 6月30日...令和4年度推進目標他

第2回 11月30日...実施状況、資源マップ検討

第3回 3月30日...新年度に向けた取組み

☆専門委員会 計3回開催

① 生活支援と見守り活動 ② 居場所づくり&健康・生きがいづくり ③ 社会参加と就労支援

(3) 生活支援コーディネーター 1名(兼任)

(4) 体制整備に関する諸事業

① 地域支え合い研修&支援者養成講習

『住みなれた地域で最期まで...考えよう笑顔で暮らせる村づくり』10月25日 参加者13名

☆支援者養成講座 7月22日 参加者 6名

『懐かしい玩具を作り、子どもたちにプレゼント!』

☆孤立を防ぐ「地域づくり」オンライン研修(年2回) 参加者 延14人

② ニーズ調査活動

生活支援ニーズの聞き取り調査等

③ 広報紙発行(年2回)、その他情報周知

④ ボランティア活動支援&支援活動の需給調整

社協「地域支え合い会員」登録者128名

⑤ その他の事業企画(参加者 延142人)

・遊休農地を活用した花畑&王滝かぶづくり

・地区サロン立ち上げ支援(3/31 上条地区)

介護保険って、どう使うの?
下条区で行われた出張介護教室では、介護サービスの使い方に
ついて熱心に耳を傾けました。



R4認知症安心ネットワーク事業

(1) 認知症地域支援推進員 1名(兼任)

推進委員研修(新任) 1名

(2) 相談支援体制の整備

① 介護・認知症相談(年2回)

② 認知症に関する情報提供&認知症講座(年1回)

③ 介護サービス利用者家族会の開催(年2回)

(3) 支援関係者と地域の支援ネットワークづくり

(4) 介護職員の資質向上、在宅介護相談の充実

令和4年度一般会計決算

“介護保険事業の収支状況が改善”

歳入合計 75,713,264円
歳出合計 75,349,005円
差引残高 244,259円

令和4年度の歳出決算は、前年度比十三・七万、実支出額では十三・三%の増額決算となりました。歳出内容では、正規職員復職に伴う支給月数の増加等により人件費が十四・四%増加し、事業費では、配食サービス食材料費や車輦費等が増加しています。

歳入面では、介護保険収入が訪問介護をはじめ利用者増加により、前年度比十五・九〇万円（+19%）と大幅に増加。また、生活福祉資金特例貸付に係る臨時収入等により、経常収益は前年度比十四・四%の増加となりました。

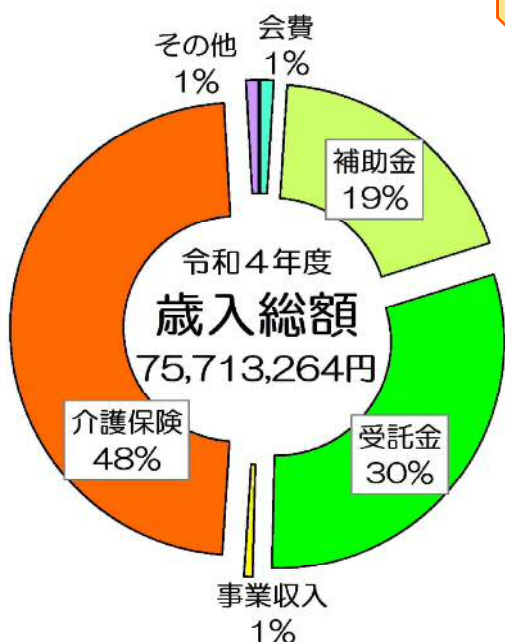
また、財政運営の面では、訪問サービスに係る人件費の一部の委託事業計上や、保健福祉センター施設管理費の減免などによる行政支援の効果もあり、運営補填のための積立資産取崩額は、当初予算では△七九三万円を計上していましたが、6年振りの取崩しなしの決算となりました。

臨時的収入や行政支援の現状を考慮すると、依然厳しい経営状況が続いています。介護保険サービスを何となく必要福祉サービスを何とか維持、継続できるよう努めて参りたいと考えております。



(単位：円)

歳入

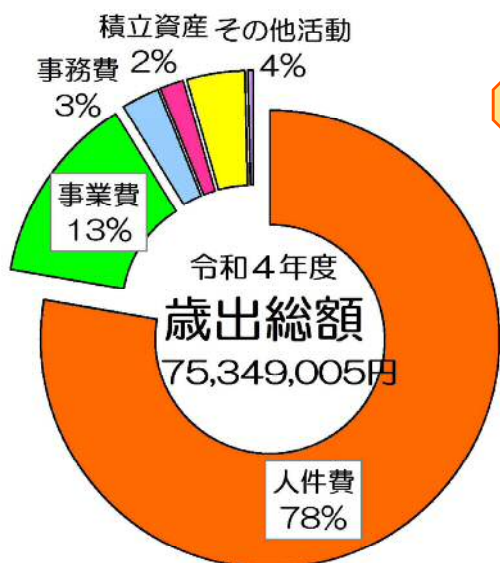


	決算額	前年度決算額	増減
1 会費	722,000	715,000	7,000
2 寄附金	50,000	81,640	△31,640
3 補助金	14,528,793	14,164,202	364,591
4 受託金	22,920,111	19,996,518	2,923,593
5 貸付事業収入	120,000	130,000	△10,000
6 事業収入	456,600	494,800	△38,200
7 介護保険事業収入	36,401,987	30,500,268	5,901,719
8 障害サービス収入	194,600	331,200	△136,600
9 基金・積立金取崩	0	5,906,074	△5,906,074
10 前期繰越金	314,898	200,000	114,898
11 その他	4,275	2,316	1,959
合計	75,713,264	72,522,018	3,191,246

※「補助金」は共同募金配分金収入(478,793円)他を含む。

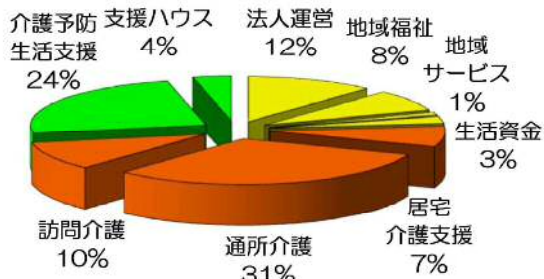
※「事業収入」は介護保険事業、受託事業以外の利用料等の収入。

歳出



	決算額	前年度決算額	増減
1 人件費	58,574,385	56,278,121	2,296,264
2 事業費	10,105,778	9,811,386	294,392
3 事務費	2,029,581	2,561,837	△532,256
4 固定資産取得支出	198,000	401,500	△203,500
5 その他の活動支出	3,082,075	2,952,627	129,448
6 基金・積立金積立	1,307,186	14,649	1,292,537
7 その他	52,000	57,000	△5,000
合計	75,349,005	72,077,120	3,271,885

※「その他の活動支出」は退職給付引当資産等の支出。



= 各サービス区分のおもな事業 =

◇地域福祉推進事業 * 計6事業

①地域福祉推進事業 ②ボランティアの育成・支援
③福祉教育の推進 ④調査広報事業 ⑤社会福祉大会 ⑥福祉活動の促進・支援等

◇地域福祉サービス * 計7事業

①どんぐり広場/ミニ児童館 ②会食会他 ③ふれあい元気づくり教室 ④お楽しみ弁当 ⑤ごたくらぶ
⑥障がい者希望の旅 ⑦障がい者の交流促進等
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計245,700円 (対事業費 33%)

◇介護予防・生活支援事業 計9事業

①いきいきサロン ②配食サービス ③生活支援訪問サービス ④介護教室 ⑤介護者リフレッシュ事業
⑥外出支援サービス ⑦心配ごと相談所
☆ 上記事業の内、利用者の皆さまの利用料等
計2,128,550円 (対事業費 76%)
⑧生活支援ネット事業 ⑨認知症安心ネット事業

※「*」の事業の内、計10事業に会員の皆さまの年会費を充当しています。「◎」の事業は、共同募金配分金事業です。(計5事業)

事業別歳出決算額の内訳

(単位: 円)

拠点/サービス区分	決算額	前年度決算額	増減
1 法人・地域福祉活動	17,517,578	17,219,560	298,018
1 法人運営事業	8,957,206	8,923,573	33,633
2 地域福祉推進事業	5,749,786	5,524,969	224,817
3 地域福祉サービス	860,576	695,009	165,567
4 生活資金貸付事業	1,950,010	2,076,009	△125,999
2 介護保険サービス	36,778,916	36,804,542	△25,626
1 居宅介護支援事業	5,587,352	5,774,491	△187,139
2 通所介護事業	23,523,674	21,980,569	1,543,105
3 訪問介護事業	7,667,890	9,049,482	△1,381,592
3 介護予防・日常生活支援事業 (受託事業)	21,052,511	18,053,018	2,999,493
1 介護予防・生活支援事業	18,386,611	15,382,918	3,003,693
2 生活支援ハウス運営事業	2,665,900	2,670,100	△4,200
合計	75,349,005	72,077,120	3,271,885

※ 法人運営事業は、基金組入額(50,000円)を含む。※ 生活資金貸付事業は、新型コロナ特例貸付事務委託費(1,915,000円)を含む。

介護保険事業の収支

(単位: 円)

	居宅介護支援	通所介護	訪問介護	合 計
歳出決算額 a	5,587,352	23,374,419	7,309,969	36,271,740
介護保険事業収入 b	4,409,380	23,742,119	8,445,088	36,596,587
その他の収入 c	20,000	122,329	40,000	182,329
差引過不足額 (b+c)-a	△1,157,972	490,029	1,175,119	507,176
(他事業繰出/繰入金)	△1,157,972	340,774	817,198	±0
(固定資産積立金)	0	149,255	357,921	507,176
(次年度繰越金)	0	0	0	0

※「介護保険事業収入」は、障害福祉サービス収入を含む。内、利用者の皆さまの利用料 計4,475,946円 (対事業費152%)
※「その他の収入」は、都道府県補助金(価格高騰対策支援金)他。



R4 基金・積立金の状況

R5.3.31現在

(単位: 円)

地域福祉基金 ※地方交付税財源	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	77,739,000	◎果実運用(社会福祉事業へ)
福祉基金 ※寄附金等財源	積立額	50,000	一般寄附金積立額
	取崩額	0	
	残高	11,162,230	◎果実等運用(地域独自の福祉サービスへ)
法人安定化積立金	積立額	0	
	取崩額	0	
	残高	0	◎基盤整備、介護保険経営補填準備金
固定資産積立金	積立額	1,257,176	車輛運搬具減価償却積立金(3台)
	取崩額	0	
	残高	11,824,113	◎消耗資産の更新準備金(8件)
暮らし資金積立金	積立額	10	預金利息積立額
	取崩額	0	
	残高	1,499,880	◎生活資金貸付事業原資

※ 令和4年度は、事業財源不足による運営補填のために当初予定していた、地域福祉基金、及び固定資産積立金(目的外取崩)からの取崩し充当は回避することができました。(当初取崩予算額 7,928千円)

※ 法人安定化積立金は、基幹的な人員体制整備のための人件費財源の確保、及び介護保険事業が赤字決算の場合の財源補填等を目的に積み立てています。

※ 固定資産積立金は、サービス運営に不可欠な車輛等の固定資産に関し、償却年数の古い資産から優先的に積み立てています。

法人役員が改選

任期満了に伴い、6月26日の定時評議員会で法人役員として理事および監事が選任され、新理事会において新たな業務執行体制が決定されました。

理事 定数 6名 (任期 令和5年6月定時評議員会
～令和7年6月定時評議員会)

会長(理事長) 滝 和人 ～その他機関(保護司)
副会長(新任) 森 敏 ～地域福祉関係(人権擁護委員)
理事 下出 謙介 ～地方行政(村議会議長)
理事 大家八代美 ～地域福祉関係(ボラ・地域活動)
理事(新任) 越 敏章 ～会社運営等経験
理事 村木 賢次 ～福祉行政(村福祉健康課長)

◎理事は構成分野を考慮の上、事業経営に関する
識見や、福祉に関する実情に通じている方
の中から選任しています。(役職は参考まで)

監事 栗空 敏之(新任)～財務管理識見
～社会福祉事業識見
定数 2名

顧問 越原 道廣(王滝村長)

評議員 定数 7～10名(現員 8名)

(任期: 令和5年6月20日
～令和7年6月定時評議員会)

◎前任者退任に伴う補選(残任期間)

吉田 英司 ～関係機関/教育機関(教育委員会)
三澤 潤子 ～ // // (小学校)

福祉推進委員が改選

(任期: 令和5年4月1日～令和7年3月31日)
各地区と社協事業を結ぶ橋渡し役として、社協
会員の募集等でご協力いただく皆さんです。

二子持	有村 幸子 さん	上 条	浅川 みき さん
鞍 馬	伊藤さとみさん(新任)		山口美智子さん
中 越	中越 清美 さん		田中美佐子さん(新任)
	小山三都代さん	九 蔵	河口 富子 さん
東	滝 百 紀 さん(新任)	野 口	政宗 菊代 さん(新任)
	島尻 章子 さん(新任)		松井みのりさん(新任)
下 条	小 谷 栄 さん	滝 越	三浦恵美子さん
	田近 美香 さん		

令和4年10月 第33回福祉・健康の集い

福祉・健康啓発月間

認めあい
ともしつな
笑顔の輪



トーク&コンサート

う～みさんによるトーク&コンサートでは、感動と癒しのひと時を堪能し、コラボ企画の締めくくりに、小学生と社協や役場職員もステージに上がり、参加者と一緒に「花は咲く」を合唱しました。



★社会福祉大会&小学校芸術祭

10月22日

★期間展示&販売

★センター事業一般開放

保健福祉センターでの期間展示&販売や一般開放事業では、作品展示や啓発コーナーも設けられ、延337名の皆さんが来場されました。



王寿会と共催の第2回『ご長寿カップ』競技大会は、新種目も加わり、大いに盛り上がりしました。

～令和4年度監査意見よい②～

◇利用者増加と業務の現状

令和4年度は、大幅にサービス利用者が増加しており、従事する職員の努力が認められる。職員の負担および福利面にも配慮し、引き続き、事業計画の基本理念に沿った事業展開が図られるよう努められたい。

～令和4年度監査意見よい③～

◇令和4年度における収支の状況

収支決算の状況は、介護保険事業収入等の増額と行政支援の効果により積立資産の取崩しを回避することができ、単年度では収支状況が改善し経営面の努力が認められる。

～令和4年度監査意見よい①～

◇福祉サービス継続のための取り組み ～法人運営～

福祉サービス継続のための取り組みに関しては、個別の理解が徐々に浸透してきており、行政への働きかけをはじめ一定の効果が認められる。福祉人材の確保など課題は大きいですが、引き続き、根気よい働きかけと地域全体での継続的な取り組みの推進に努められたい。



各種委員の改選

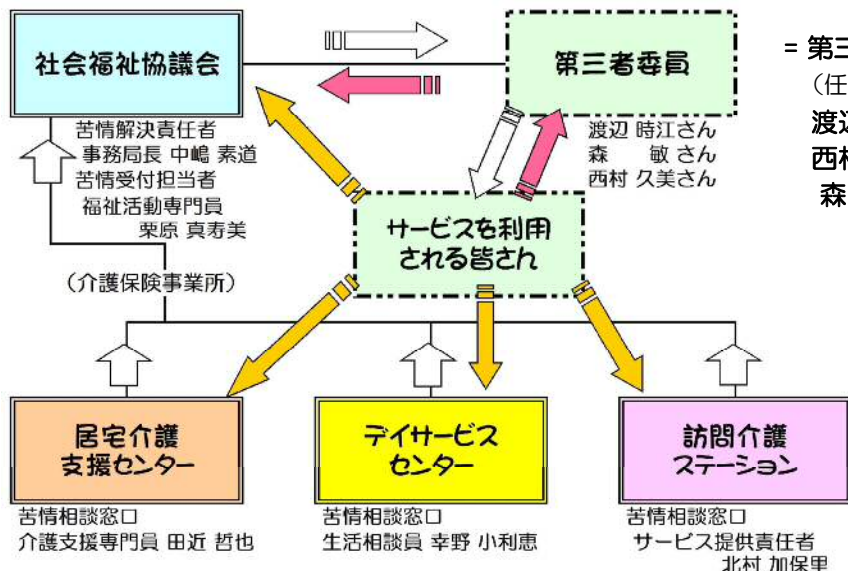
= デイサービスセンター運営委員 = (6名以内)
(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)
◎前任者退任に伴う補選(残任期間)

木島 栄次 ～地域住民代表(民生児童委員)
村木 賢次 ～行政(福祉健康課長)

= 第三者委員 = ◎任期満了に伴う改選
(任期：令和5年4月1日～令和8年3月31日)

渡辺 時江 ～民生児童委員
西村 久美(新任)～利用者家族
森 敏 ～地域代表

福祉サービス苦情相談窓口



福祉サービスを利用される皆さまの権利を守り、福祉サービスを安心してご利用いただくために、第三者委員の方々が、利用者の皆さまのご意見やご要望を公平で中立的な立場からお聞きします。

令和4年度寄付者ご芳名

(受付順)

たいせつに使わせて頂きます!

寄付金総額 50,000円

一般寄付金

個人 宮下 幸一様

※ この他にも、地域の皆さまから手づくりの野菜や山菜、果物などの食材、介護用の綿布や雑巾など、たくさんの頂きものがありました。(計77件)
いつもありがとうございます。



配食サービスやデイサービスなどの事業では、いつもたくさんの野菜などを頂き活用させていただいています。(左)ひとり暮らしよりまい会のお弁当メニュー。